

IAUD Newsletter vol.5 第9号 (2012年9月号) 目次

1. 「第4回国際UD会議 2012in 福岡」第1回組織委員会開催報告・・・1
2. 国際会議プログラム概要のご紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. IAUD 10月の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

まもなく開幕！「第4回国際UD会議 2012in 福岡」 ～第1回組織委員会開催報告



いよいよ「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012in 福岡」が開幕します。9月21日(金)には「第1回組織委員会」がトヨタ紀尾井倶楽部(東京・紀尾井町)で開催されました。当日は岡本一雄組織委員会新会長や高島宗一郎福岡市長など15名が出席され、会議成功への決意表明が行われました。今月のNewsletterは、組織委員会の開催報告と詳細が固まった国際会議のプログラム概要をご紹介します。

組織委員会新会長に岡本評議員会議長

組織委員会は評議員会メンバーに、国際会議を共催する小川洋福岡県知事、高島宗一郎福岡市長、また有川節夫九州大学総長、石原進九州旅客鉄道株式会社代表取締役会長、G.W.バークレー西南学院大学学長が加わって構成されています。

まずは小島文代 IAUD 理事長／実行委員長より、組織委員会の趣旨説明及び出席者の紹介があった後、1月にご逝去された山本卓真会長に代わり、岡本一雄評議員会議長の会長就任、伊久哲夫評議員会副議長の副会長就任の提案があり、拍手により承認されました。

その後、新会長に就任されました岡本会長は「総裁と山本会長のご遺志を継いで、国際会議の成功にご協力をお願いしたい」と挨拶されました。

福岡市も街中で歓迎

さらに、国際会議の基本計画案に関する意見交換が行われた後、高島福岡市長から「福岡での開催を大変光栄に思っている。今回の会議をUDの精神を活かした街づくりを目指した『ユニバーサル都市福岡』の活動の大きなステップにしたい。また、会期の前後にも、UDに関するフェスティバルを実施し、様々なイベントを行い、街中で盛り上げて歓迎し、総裁、山本会長にもご満足いただけるようにする」と述べられました。



最後に、伊久副会長より「紆余曲折はあったが、事務局に頑張ってもらった。総裁、山本会長のご遺志を受けて、最後のつめを行い、大いに盛り上げていこう」と決意表明及び閉会のご挨拶があり、拍手による賛同をもって組織委員会は終了しました。(了)



The 4th International Conference for Universal Design in FUKUOKA 2012

第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012 in 福岡

充実した国際UD会議のプログラムをご紹介します
～会議テーマは「安全・安心～UDの基本を考える」

10月12日（金）から10月14日（日）まで、福岡国際会議場、福岡国際センターほかで開催される「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012in 福岡」プログラムの詳細がほぼ固まりました。

今回は、2011年3月11日に起きた東日本大震災を踏まえ、「安全・安心～ユニヴァーサルデザインの基本を考える」をテーマに国内外の専門家を講師に多数お迎えし、東日本大震災の教訓から学んだ、インフラや産業構造、ライフスタイルや社会システム及び制度のあり方など、「安全・安心」という、UDの底流にある基本的概念をもう一度捉え直し、社会生活全般に渡る総点検を行います。

以下に会期3日間の会議プログラム概要をご紹介します

※プログラム内容、日時、会場等に変更する場合がありますので、予めご了承願います。

10月12日（金曜日）

福岡国際会議場メインホールにて、開会式と公開シンポジウムが開催されます。公開シンポジウムは記念講演と基調講演、パネルディスカッションが開催され、夜には会議参加者の歓迎レセプションが予定されています。

また、併設展示会が福岡国際センターにて12時から一般公開されます。

■開会式 10時～10時50分・メインホール

開会式には総裁・故寛仁親王殿下のご次女である瑠子女王殿下ご臨席のもと、小川洋福岡県知事、高島宗一郎福岡市長をはじめ各界から来賓をお招きして開催予定です。

■公開シンポジウム 12時10分～18時・メインホール



◆記念講演：「ユニヴァーサルデザインの新たな挑戦」

[戸田一雄](#) (IAUD 顧問)

IAUD 前評議員会議長で現在は同顧問の戸田氏に、これまでの IAUD の取り組みや震災後に UD 活動ができること、その具体的な事例などを述べていただきます。



◆基調講演 1：「平常と非常の境」

[曾野綾子](#) (作家)

2010 年に出版された賢い老い方を説いた『老いの才覚』がミリオンセラーになった曾野氏に、今後ますます高齢化が進む日本社会は、昨年発生した震災を機にどのようにあるべきなのか、率直なご意見をお話いただきます。



◆基調講演 2：「被災地から日本の建築やまちの未来を考える」

[伊東 豊雄](#) (建築家／多摩美術大学客員教授)

2012 年 3 月に大好評のうちに終了した「国際会議プレイヴェント」でも有意義なご講演をしていただいた伊東氏に、震災直後から取り組んでおられる復興支援プロジェクトについて、改めてお話いただきます。

◆パネルディスカッション：「災害に備えるためのUD」



[ミホ・マゼレウ](#) (マサチューセッツ工科大学講師：米国)

[田村太郎](#) (財団法人ダイバーシティ研究所代表理事)

[ラーマ・ギーラオ](#) (王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター副所長：英国)

[董 华](#) (同济大学特任教授：中国／ブルネル大学上級講師：英国)

小島文代 (IAUD 理事長/コーディネーター)

◆48 時間デザインマラソン プレゼンテーション/表彰式

このワークショップは、ユーザー対話型ワークショップ『48 時間デザインマラソン』として IAUD が 2004 年から継続的に取り組んでおり、UD の探求と普及や将来の UD 創造を担う開発者の人材育成を目的とした活動です。

今回は「福岡観光の魅力向上させるユニヴァーサルデザイン」をテーマに、国際会議開始前の 10 月 10 日(水)から九州大学芸術工学部 多次元デザイン実験棟で実施します。この日のプレゼンテーション/表彰式では、来場者やマスメディアに対してプレゼンテーションを行い、公開審査によって優秀作が表彰されます。

※48 時間デザインマラソンの詳細はこちら

<http://www.ud2012.net/48hour/>

■歓迎演奏会 18 時 20 分～18 時 50 分・メインホール

航空自衛隊西部航空音楽隊による演奏をご鑑賞いただきます。

■歓迎レセプション 19 時 00 分～20 時 30 分・5 階ロビー

ご来賓、登録参加者、主催関係者を対象としたオープニング・レセプションです。

■展示会 (屋内展示/屋外展示)

12 時 00 分～17 時 00 分・福岡国際センター、中央埠頭イベントバースほか

国際会議場に隣接する福岡国際センターにて、12 時から展示会が一般公開されます。今回は国内外の企業及び団体が多数出展し最新 UD 実例・製品を紹介するほか、特別企画展「命を救うデザイン」では、防衛省、海上保安庁、警察庁、消防庁から特別に協力いただき、災害対応における様々な車両、船舶機材等を展示する区画を屋外の特設会場に設置します。

10月13日（土曜日）

UDにかかわる様々なテーマについての基調講演、パネルディスカッション、論文発表セッション、ランチョンセッション等からなる本会議が、13日と14日にかけてメインホールと国際会議室、中会議室で行われます。

また、市民にも親しみやすいテーマの公開ワークショップも開催されます。

■セッション1：UDのグローバル展開 9時00分～10時20分・メインホール



日本や米国ではユニヴァーサルデザインの言葉が主に使われていますが、英国はインクルーシヴデザイン、欧州全域ではデザインフォーオールが主流です。また、人間中心デザインやユーザーオリエンテッドデザイン等の言葉も聞かれますが、いずれも人間の多様性を理解し、人権や人間の尊厳に配慮したデザインを行なう概念との認識では共通しており、視座が微妙に異なるだけと解釈できます。些細な違いにこだわることなく、相互連携し協力して世界のUD発展を進めるためには一体何をすべきか、欧州と英国を代表して2名の基調講演者に、本会議の口火を切っていただきます。



フランセスク・アラガイ

(デザインフォーオール財団代表：スペイン)

ラーマ・ギーラオ

(王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター副所長：英国)

■セッション2：大震災を乗り越えて 10時40分～12時00分・メインホール



昨年の東日本大震災を始めとして、近年、国内外で発生した様々な大災害からの復旧・復興を担った、あるいは支援した方々を招き、それぞれの復興・支援活動がどのように行なわれたのか、また活動を遂行する上で新たにクローズアップされた問題点は何か、さらにUDの観点から今後どのような改善や提案が望まれるか等、それぞれのプレゼンテーションを通して考察します。

佐々木 一十郎（上写真）

（宮城県名取市長）

須川 哲治

（元福岡市 都市整備局玄界島復興担当部長）

スリニバサ・ポプリ

（国連人間居住計画（ハビタット）上級人間居住専門官）



ミホ・マゼレウ（下写真）

（マサチューセッツ工科大学講師：米国）

■ランチョンセミナー 12時00分～13時20分・国際会議室、中会議室

各企業のUD方針や製品事例を、昼食をとりながら紹介する特別セミナー。今回はパナソニック(株)、(株)丹青社、花王(株)の3社が開催します。

■公開セミナー／セッション3：救難・救助ー災害出動におけるUD

13時20分～14時40分・メインホール



東日本大震災における災害出動として被災地の救難救助にあたった、陸上／海上／航空自衛隊より講演者を招き、陸海空のそれぞれの役割分担を踏まえ実際の救難救助活動がどのように展開されたのか、また活動を遂行する上で新たにクローズアップされた問題点は何か、さらにUDの観点から今後どのような改善や提案が望まれるか等、それぞれのプレゼンテーション通して考察します。

富井稔（陸自第5施設団長兼小郡駐屯地司令）

[米丸 祥一](#)（上写真）（海上自衛隊佐世保地方総監部監察官）

杉山政樹（航自西部航空方面隊副司令官）

■公開セミナー／セッション4：安全・安心ー治安・防災におけるUD

15時00分～16時20分・メインホール

毎年のように九州地方を襲う台風や集中豪雨、その他様々な災害や事故において、救難、防災、治安等の活動に従事する、海上保安庁、消防庁、警察庁より講演者を招き、それぞれの役割分担を踏まえ実際の活動がどのように展開されているのか、また活動を遂行する上でどのような苦労や問題点があるのか、さらにUDの観点から今後どのような改善や提案が望まれるか等、それぞれのプレゼンテーションを通して考察します。

太田吉一（海上保安庁第七管区海上保安本部警備救難部長）

藤原謙治（福岡市消防局警防部長消防司監）

柴田和敏（福岡県警察本部警備部警備課管理官）

■公開セミナー／セッション5：九州自治体首長セッション 安全・安心な社会づくり

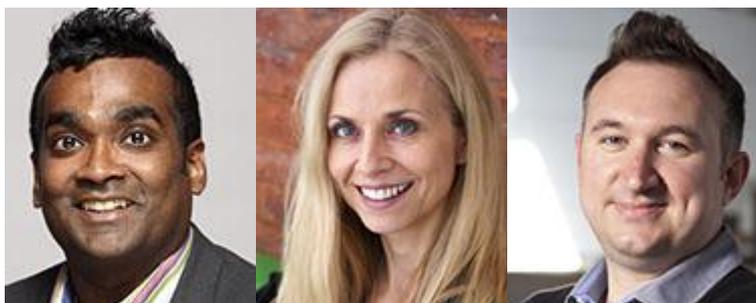
16時40分～18時00分・メインホール

東日本大震災および福島原発事故のような大災害は、再び日本のどこで起こってもおかしくないとも言われていますが、本セッションでは、セッション2～4の討議を踏まえ、そのような災害に見舞われた場合、自治体としてどのような対応が望まれるか、普段より備えるべきことは何か、さらにUDの観点から今後どのような改善や提案が望まれるか等、それぞれの自治体の事情も踏まえつつお話いただき、考察します。

古川康（佐賀県知事）
潮谷義子（日本社会事業大学理事長）
高島宗一郎（福岡市長）
[清水 鳩子](#)（主婦連合会参与/司会）

■公開ワークショップ／ビジネス&デザイン：人間中心デザインの考え方

13時20分～16時20分・中会議室



[ラーマ・ギーラオ](#)

（王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター副所長：英国）

[オンニ・エイクハウグ](#)

（ノルウェーデザイン協議会プログラムリーダー：ノルウェー）

[ショーン・ドナヒュー](#)

（デザイン研究センター所長／メディアデザイン研究科共同創設者：米国）

このワークショップでは、製品やサービスが消費者のニーズや願望と一致しているかを確認する方法、さらに消費者のニーズや願望を理解することは、いかにアイデアの改良や革新さらには市場シェア拡大につながるか検証します。

また、消費者の多様性を考慮する利点を理解し、より人間中心でビジネスに対応できる方法を探ります。

すぐに活用できる実践的な方法や技術を調査するほか、UDアプローチを世界的な組織がどう取り入れているかも見ていきます。

■論文発表セッション 9時00分～18時00分・国際会議室

国内外から応募のあった176の論文の中から厳正な審査を通過した論文を13日と14日の2日間、テーマごとに9つのセッションに分けて発表します。

13日はテーマ「ウェブデザイン」、「UD理念」、「建築・地域計画」、「製品デザイン1」、「製品デザイン2」の論文が発表されます。

■ポスターセッション 10時40分～16時20分・5階ロビー

国内外から応募のあった論文の中から審査を通過した論文を、ポスターにて発表します。

■展示会（屋内展示/屋外展示）

9時30分～17時00分・福岡国際センター／中央埠頭イベントバスほか

研究部会の活動内容を発表する「ユニヴァーサルトーク」を実施するほか、特別企画展「命を救うデザイン」では、護衛艦「さわゆき」の船内見学や自衛隊による炊き出しの実演などが行われます。

10月14日（日曜日）

会議最終日には3日間にわたる会議全体を総括するプログラムが予定されています。閉会式では「国際ユニヴァーサルデザイン宣言 2012」が発表されます。また、UDの更なる普及と実現をめざす一環として、第1回「UD検定」が実施されます。

■セッション6：東アジアにおけるUD 9時00分～10時20分・国際会議室



高 榮俊

（ソウル科学技術大学校デザイン学科教授／韓国デザイン学会副会長：韓国）

董 华

（同済大学特任教授：中国／ブネル大学上級講師：英国）

陳 麗喬

（香港建築センター副所長：香港）

いち早く超高齢社会に突入した日本ですが、韓国や香港も急速に高齢化の道を邁進しています。また、日本の約10倍の人口を持つ中国の高齢化問題は深刻で、対策への早急な着手が求められています。過去の歴史的経緯や領土問題もあり、国家間交流が円滑に進み難いところも見受けられます東アジア地域ですが、UDを切り口とした民間交流においては、国籍の違いを超え人間の多様性に配慮した生活環境の整備に向けて緊密に連携していかななくてはなりません。東アジア地域におけるUDの更なる普及発展のために、今後われわれは何をなすべきか考察します。

■セッション7：サステナビリティー安全・安心な社会の創造、発展、そして継承 10時40分～12時00分・国際会議室



荒井 利春

（金沢美術工芸大学デザイン科教授）

白石 正明

（国際プロダクティブ・エイジング研究所代表）

益田 文和

（デザインコンサルタント／東京造形大学教授）

地球環境保全に配慮しつつ、高齢者や障害者を含む多様な人々が快適に暮らせる、いわゆる持続可能な社会を創造するためには、様々な立場の人々による多方面からの議論が欠かせません。本セッションでは、障害者のためのデザイン、高齢化問題、そしてサステナブルデザインの3つの分野にそれぞれ長年携わってきた専門家にお集りいただき、率直な意見交換を通して、我々の目の前に横たわる問題点を浮き彫りにしながら、今後の方策を探ります。

■IAUD アワード 2012 プレゼンテーション／表彰式

12 時 00 分～13 時 20 分・国際会議室

「IAUD アワード 2012」は、不慮の災害からの復旧・復興・復活に役立つ、まちづくり、ものづくり、仕組みづくり等、持続可能な共生社会の実現に向けた革新的な UD 活動や提案を広く国内外に求め、厳正な審査により優秀作を表彰します。

選考委員会による審査結果を会場において発表し、受賞者に賞を授与します。今回は「大賞」「金賞」「銀賞」のほか、IAUD 総裁「寛仁親王賞」、「大臣賞」、「特別賞」など各賞を予定しています。

なお、受賞者にはプレゼンテーションを行なっていただきます。

※詳細はこちらをご覧ください↓

<http://www.ud2012.net/award>

■セッション 8：サステナビリティー安全・安心なエネルギー資源国際会議室

13 時 20 分～14 時 40 分・国際会議室



大屋 裕二

(九州大学応用力学研究所所長／新エネルギー力学部門風工学分野教授)

松永 烈

(産業技術総合研究所名誉リサーチャー／日本地熱学会会長)

東日本大震災で明らかとなった原発の脆弱性、および戦後日本のエネルギー行政への反省から、安全・安心なエネルギー資源の確立が喫緊の課題であるとの認識のもと、技術的にもまた電源立地上の観点からも有望視されているエネルギー資源のうち、洋上風力発電と地熱発電の 2 つを取り上げ、それぞれの発電方式の特徴や地球環境保全上の意義についてあらためて考察します。

■セッション 9 (クロージング・セッション)：安全・安心ー持続可能な世界

15 時 00 分～16 時 40 分・国際会議室



ロジャー・コールマン

(王立芸術大学院名誉教授：英国)

ヴァレリー・フレッチャー

(人間中心デザイン研究所所長：米国)

フランセスク・アラガイ

(デザインフォーオール財団代表：スペイン)

小島 文代

(IAUD 理事長)

「安全・安心ーユニヴァーサルデザインの基本を考えるー」のテーマのもと開催した今回の国際会議全体を総括し、特に強調すべき成果は何か、新たに明らかになった点は何か、また今後さらに議論を進めるべきポイントは何か等、各国の UD 関連団体の代表や専門家の方々とともに話し合います。持続可能な世界を築くための、子や孫をはじめとする将来の世代に向けた重要な提言となれば幸いです。

■閉会式 17時00分～18時00分・国際会議室

「優秀論文表彰」や「グローバルコミットメント調印」さらに、「国際ユニヴァーサルデザイン宣言 2012」を発表し、閉会となります。

■第1回 UD 検定 9時00分～12時00分・中会議室

IAUD は UD の更なる普及と実現をめざす活動の一環として、UD 検定を新たにスタートします。

その第1回 UD 検定「初級 講習会&検定試験」を、国際会議中にて行います。商品やサービスを正しく選択できる知識や能力を身につけるなど、UD に関する基礎的、基本的な知識を学習する講習会と検定試験をセットで実施します。UD に興味のある一般生活者の方も気軽に参加できます。また、その場で学習できるので、事前の準備が不要です。

※UD 検定に関する詳細はこちらをご覧ください↓

<http://www.ud2012.net/udexam/>

■舘野 泉 左手のピアノ演奏会 18時30分～（開場 18時00分）・メインホール

「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012in 福岡」開催記念として福岡市が主催。病に倒れた後も左手のみを駆使して演奏活動に国内外で活躍する世界的ピアニスト舘野泉様をお招きして、国際会議の最後を飾るにふさわしいコンサートをご鑑賞いただきます。

■論文発表セッション 9時00分～16時20分・中会議室

本日のテーマは「住宅・建築」、「医療・健康」、「交通」、「字幕」です。

■ポスターセッション 10時40分～14時40分・5階ロビー

■展示会（屋内展示/屋外展示）

9時30分～16時00分・福岡国際センター／中央埠頭イベントバスほか

※プログラムや開催日時の詳細は国際 UD 会議 2012 の公式ホームページをご覧ください。

<http://www.ud2012.net/>

IAUD 2012年10月の予定

- 3日(水) 13時半～ 国際会議合同記者会見(福岡市・アクロス福岡)
- 4日(木) 14時半～ メディアのUDPJ定例会(IAUDサロン)
- 5日(金) 日本時間正午 国際会議事前登録締切
- 10日(水)～13日(土) 特別ワークショップ 48時間デザインマラソン
- 12日(金)～14日(日) 「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012in 福岡」開催
- 19日(金) 13時半～ 余暇のUDPJ定例会(IAUDサロン)
- 23日(火) 15時～ 食のUDPJ定例会(IAUDサロン)
- 24日(水) 14時～ 協同事業検討委員会会合(IAUDサロン)

会議登録にはお得な事前登録がおすすめです。詳細はこちらをご覧ください↓
<http://www.ud2012.net/registration/>

メンバー募集中の研究部会・委員会はこちら↓
<http://www.iaud.net/news-f/archives/1204/17-134308.php>

次号は10月上旬発行予定

特集:「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012in 福岡」合同記者会見開催報告
(予定)

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : salon@iaud.net